

中学校数学 解答例

	(1)	A	一次関数	B	確率	C	数学化	D	表現	各3点 ×8	
		E	批判的	F	よさ	G	評価	H	多様		
1	(2)	記号 ウ	学年 3	(3)	(例)範囲や四分位範囲はデータの散らばりの度合いを表す指標として用いるが、極端にかけ離れた値が一つでもある場合に、範囲はその影響を受けやすいのに対し、四分位範囲はその影響をほとんど受けないというよさがある。					(2)各3点 ×4	
		記号 エ	学年 1							(3)7点	
2	(1)	(例)生徒の中には、比例定数を-6としているが、反比例の関係が比例の式 $y = ax$ や一次関数の式 $y = ax + b$ で表されると捉えた生徒がいると考えられる。								7点	
	(2)	(例)反比例の表から、 $x$ の値とそれに対応する $y$ の値の積が常に一定で、その値が比例定数 $a$ であることを確認した上で、 $x$ と $y$ の関係を $xy = a$ 、または、 $y = \frac{a}{x}$ という式で表すことができるようにする。								7点	
3	(1)	$\frac{1 + 3\sqrt{10}}{3}$								5点	
	(2)	5, 6								5点 (完全解答)	
	(3)	125 円								5点	
	(4)	$x = 17k + 3, y = 12k + 2$ (別解... $x = 17k - 14, y = 12k - 10$ )								各3点 ×2	
	(5)	20 cm <sup>2</sup>								5点	
	(6)	①	$\frac{1}{4}$				②	$\frac{15}{128}$			各5点 ×2
	(7)	(例) $\triangle ABP$ と $\triangle ADB$ において、 $\angle BAP$ と $\angle DAB$ は共通 .....① 二等辺三角形 $ABC$ の底角は等しいから、 $\angle ABP = \angle ACB$ また、等しい弧に対する円周角は等しいから、 $\angle ACB = \angle ADB$ よって、 $\angle ABP = \angle ADB$ .....② ①, ②より、2組の角の大きさがそれぞれ等しいから、 $\triangle ABP \sim \triangle ADB$								7点	